

工事写真の黒板 記入例集（土木・工種別）

記載項目と撮影頻度は国土交通省「写真管理基準（案）」令和8年3月版で確認しています（確認日 2026-09-30）。国の直轄土木工事の基準です。発注者（自治体など）の基準や特記仕様書が異なる場合は、そちらに従ってください。工事名・測点・寸法は架空の記入例です。

小黒板に記載する項目（写真管理基準 2-2）

①工事名 ②工種等 ③測点（位置） ④設計寸法 ⑤実測寸法 ⑥略図（必要事項を記載し、文字が判読できるよう被写体とともに写し込む）

工種別の記入例

土工（掘削工）：法長

撮影頻度：200m又は1施工箇所 に1回〔掘削後〕

①工事名	〇〇地区道路改良工事
②工種等	道路土工 掘削工 法長
③測点（位置）	No.12+5.0 左側
④設計寸法	L=8.50m
⑤実測寸法	L=8.53m
⑥略図	横断面図に法長の測定位置を矢印で示す

土工（盛土工）：巻出し厚

撮影頻度：200mに1回〔巻出し時〕

①工事名	〇〇地区道路改良工事
②工種等	道路土工 盛土工 巻出し厚（第3層）
③測点（位置）	No.20
④設計寸法	t=300mm以下
⑤実測寸法	t=290mm
⑥略図	盛土の層と測定位置を示す

舗装（アスファルト舗装工・下層路盤工）：厚さ

撮影頻度：各層毎200mに1回〔整正後〕

①工事名	市道〇〇線舗装工事
②工種等	アスファルト舗装工 下層路盤工 厚さ
③測点（位置）	No.5 中心
④設計寸法	t=150mm
⑤実測寸法	t=152mm
⑥略図	舗装構成図に下層路盤を示す

コンクリート構造物（場所打擁壁工）：厚さ・幅・高さ

撮影頻度：200m又は1施工箇所1回〔型枠取外し後〕

①工事名	〇〇川護岸工事
②工種等	場所打擁壁工 天端幅
③測点（位置）	No.3+10.0
④設計寸法	W=400mm
⑤実測寸法	W=405mm
⑥略図	擁壁断面図に測定箇所を示す

鉄筋工（組立て）：平均間隔・かぶり

撮影頻度：コンクリート打設毎に1回（重要構造物かつ主鉄筋について適用）

①工事名	〇〇橋下部工工事
②工種等	鉄筋工 組立て 主鉄筋間隔
③測点（位置）	A1橋台 縦壁
④設計寸法	@200mm
⑤実測寸法	@198mm（10本平均）
⑥略図	配筋図に測定範囲を示す

撮影チェックリスト

- ☐ 黒板の文字が写真で判読できる大きさ・位置で写し込んだ
- ☐ 工事名・工種等・測点（位置）を書いた（寸法を測る写真は設計寸法と実測寸法も）
- ☐ 測定位置が分かるよう略図を添えた（必要な場合）
- ☐ 撮影頻度（撮影箇所一覧表）どおりに撮った
- ☐ 撮影後に写真を編集していない（写真編集は認められない）
- ☐ 電子小黒板を使う場合、信憑性確認（改ざん検知機能）のある機器・ソフトを使った
- ☐ 電子小黒板の写真は、納品時に信憑性チェックツール等で確認した結果を監督職員へ提出する

出典（国土交通省）

- 国土交通省 写真管理基準（案）令和8年3月：<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001990189.pdf>
- 国土交通省 デジタル写真管理情報基準 令和5年3月：<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001596260.pdf>
- 国土交通省 デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月15日 国技建管第6号）：<https://www.mlit.go.jp/tec/content/001594465.pdf>